

2019 年度下期 ANAグループ航空輸送事業計画を一部変更

ANAグループは、2019 年度下期の航空輸送事業計画を一部変更致します。

今年度、成田からの新規開設による路線ネットワークの拡充に加え、快適性と居住性の優れた新機材を積極的に導入するとともに、ワクワクするような工夫やサービスの充実に努め、お客様に特別な体験価値をご提供できるよう、チャレンジを続けています。

9 月 1 日(日)からは、日本から唯一の直行便となる成田＝パース線^{※1}を新規開設し、日本とオーストラリアとの両国間、さらにはアジア太平洋地域の交流拡大に一層貢献していきます。

今年度下期における航空輸送事業計画のポイントは以下のとおりです。

【国際線】

- 10 月 27 日(日)より成田＝インド・チェンナイ線を^{※2}、2020 年 3 月(2019 年ウインターダイヤ期間中)より成田＝ロシア・ウラジオストク線を^{※3}日本のエアラインとして初めて新規開設し、未就航エリアへの路線拡大を積極的に進めていきます。これにより、ANA は世界で 47 都市^{※4}68 路線に就航します。
- エコノミークラスの座席数が多い特性を活かし、ボーイング 787-10 型機(294 席仕様)を 10 月 27 日(日)より成田＝マニラ線に投入し、アジア・米国間における旺盛な三国間流動需要にお応えしていきます。^{※5}
- 日本を代表する建築家・隈研吾氏の全体監修のもと、最上級のくつろぎ空間に一新した、ボーイング 777-300ER 型機を、現在運航している羽田＝ロンドン線に加え、2019 年ウインターダイヤ期間中に、東京(羽田・成田)＝ニューヨーク線、次いで羽田＝フランクフルト線に投入します。^{※6}

【国内線】

- 国内線の主力機材であるボーイング 777-200 型機は、国内クラス最大となるタッチパネル式パーソナルモニターを装着した新たなシートを普通席全席に導入するほか、快適性や機能性が更に向上したプレミアムクラスを 28 席に増席するなどの改修を行い、11 月中に羽田＝福岡線をはじめとする幹線に投入を開始し、順次対象路線・便数を拡大していきます。^{※7}
- 引き続き、需要動向や競争環境に応じた路線便数の最適化と投入機種種の柔軟な調整を推進しながら、国内線ネットワークを充実させていきます。

【貨物専用便】

- 中長期的に拡大が見込まれるアジア＝北米間の貨物需要を獲得する為、大型貨物専用機のボーイング 777F 型機を、現在運航している成田＝上海線に加え、10 月 29 日(火)より成田＝シカゴ線に直行便で週 3 便運航します。^{※8}
- 一方で、国際線貨物をはじめとするマーケットの需要は一部停滞感が見られますが、需要動向や競争環境に応じて、エアラインチャーターやフレーターの便数や路線ネットワークなどを柔軟に調整しながら最適化を図り、着実に収益性を高めていきます。

※1: ANA NEWS 第 18-098 号(2019 年 1 月 23 日付)にて発表済です。

※2: ANA NEWS 第 18-098 号(2019 年 1 月 23 日付)、ANA NEWS 第 19-034 号(2019 年 7 月 18 日付)にて発表済です。

※3: ANA NEWS 第 19-041 号(2019 年 7 月 29 日付)にて発表済です。

※4: 貨物便のみ就航している天津を含みます。

※5: ANA NEWS 第 19-002 号(2019 年 4 月 5 日付)をご参照ください。

※6: ANA NEWS 第 19-033 号(2019 年 7 月 11 日付)をご参照ください。

※7: ANA NEWS 第 19-018 号(2019 年 5 月 29 日付)をご参照ください。

※8: ANA NEWS 第 19-029 号(2019 年 7 月 2 日付)をご参照ください。

国際線、国内線、貨物専用便の路線便数、運航機種等の詳細は以下のとおりです。

*これらの計画は関係当局への申請・認可を前提としています。

1. 国際線



ファーストクラス新シート「THE Suite」



ビジネスクラス新シート「THE Room」

(1) 新規開設

路線	実施時期	機材	運航回数	備考
成田=チェンナイ	10月27日	B787-8	3往復/週	日、水、金曜日運航
成田=ウラジオストク	2020年3月 (2019年ウインターダイヤ 期間中)	調整中	調整中	

(2) 機材変更

路線	実施時期	現行		変更後		備考
		機材	週間便数	機材	週間便数	
成田=シンガポール	10月27日～	B787-10 B787-9	14往復/週	B777-300ER B787-9	14往復/週	※1 ※7
成田=マニラ	10月27日～	B787-8	7往復/週	B787-10	7往復/週	※7
成田=香港	10月27日～ 2020年1月31日	B767-300ER	14往復/週	B787-9 B767-300ER	14往復/週	※2 ※7
	2020年2月1日～	B787-9 B767-300ER	14往復/週	B787-8 B767-300ER	14往復/週	※3 ※7
成田=北京	12月1日～	B787-8	7往復/週	A320neo	7往復/週	※7
成田=上海(浦東)	2020年2月1日～	B787-8 B767-300ER	21往復/週	B787-9 B787-8 B767-300ER	21往復/週	※4
成田=武漢	2020年1月1日～	A320neo	7往復/週	B767-300ER	7往復/週	※5 ※7
羽田=香港	2020年2月1日～	B787-9 B767-300ER	14往復/週	B787-9 B787-8	14往復/週	※6

※1 NH801/802 便に B777-300ER を投入予定です。

※2 NH809/810 便に B787-9 を投入予定です。

※3 NH811/812 便に B787-8 を投入予定(NH811 便は 2020 年 1 月 31 日からの機材変更)です。

※4 NH919/920 便に B787-9 を投入予定です。

※5 2020 年 2 月 13 日～3 月 12 日は A320neo を投入予定です。

※6 NH821/822 便に B787-8 を投入予定です。

※7 復路便は翌日からの機材変更となります。ただし、NH809/810 便は除きます。

*当日の機材・運航状況により、変更となる可能性があります。

(3) 減便・運休

路線	実施時期	現行	変更後	備考
中部=上海(浦東)	10月27日～	7往復/週	-	
成田=成都		7往復/週	4往復/週	

2. 国内線

(1) 増便

以下に記載している内容以外に、中部・伊丹・福岡空港の発着便を中心とした年末年始期間の増便を計画しています。詳細はANA時刻表またはANA SKY WEBをご確認ください。

路線	実施時期	現行	変更後	備考
羽田＝石垣	10月27日～ 2020年3月28日	2往復/日	2往復/日	期間増便継続
羽田＝沖縄		12往復/日	12往復/日	
羽田＝広島		10往復/日	10往復/日	
伊丹＝福岡	10月27日～11月13日 11月17日～30日	5往復/日	6往復/日	
中部＝熊本	10月27日～	2往復/日	3往復/日	

(2) 減便・運休

路線	実施時期	現行	変更後	備考
関西＝札幌	10月27日～12月1日 12月20日～2020年1月6日 2020年1月24日～3月28日	4往復/日	3往復/日	期間減便 ※1
	12月2日～19日 2020年1月7日～23日	4往復/日	2往復/日	
中部＝札幌	12月2日～19日 2020年1月7日～23日	5往復/日	4往復/日	期間減便
中部＝女満別	11月25日～12月19日 2020年1月14日～23日	1往復/日	-	期間運休
中部＝旭川	12月2日～6日 12月8日～19日	1往復/日	-	期間運休
中部＝仙台	10月27日～	4往復/日	3往復/日	
中部＝福岡	10月27日～2020年2月22日	6往復/日	2往復/日	※2
	2020年2月23日～3月28日	6往復/日	3往復/日	

※1 11月13日～16日、12月26日～2020年1月5日の関西発札幌行き、および11月14日～17日、12月27日～2020年1月6日の札幌発関西行きは1日4便運航となります。

※2 スターフライヤー運航便とのコードシェアの開始、ならびに便数を変更致します。詳細は、8月21日発表のANA/スターフライヤー共同リリースにてお知らせ致します。

3. 貨物専用便

(1) 新規開設

路線	実施時期	機材※1	運航回数	備考
成田＝シカゴ	10月29日	B777F	3往復/週	火、木、土曜日運航

(2) 減便・運休

路線	実施時期	現行	変更後	備考
成田＝上海(浦東)	12月23日～	7往復/週	6往復/週	※1

※1 月曜日発のB767F運航分を運休致します。

以上